

令和2年度（令和元年分）
米原市環境報告書



令和3年3月 米原市
（経済環境部環境保全課）



目次

第1章 環境の現状

- 1 環境調査……………p.1
- 2 廃棄物……………p.3

第2章 米原市の環境施策の取組状況

- 1 第2次米原市環境基本計画における基本理念と目指す環境像……………p.5
- 2 重点プロジェクトについて ……p.6
- 3 第2次米原市環境基本計画および実施計画実績一覧……………p.7
- 4 米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の取組状況……………p.8

付表

- 河川水質および名水水質の年次推移……………p.19

第1章 環境の現状

本市では、公害防止および地下水等の水質変動を調査するため、地下水水質、河川水質、湧水調査、土壌調査および自動車騒音の調査を実施しています。調査項目や調査地点は適宜見直しを行っています。

1 環境調査

(1) 河川

<調査地点>

市内の主な河川で水質を調査しています。

調査地点名（地先）	回数
【環境基準の類型指定あり（水域類型：AA）】 「天野川上流」「天野川下流」（四町公害河川水質調査）	2回／年
【環境基準の類型指定なし】 「政所川」「出川」「黒田川」「土川」「琵琶田川」 「長老墓地川」「承水溝」「磯川」「姉川上流」「姉川下流」	1回／年

<調査項目>

全調査地点	水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）、浮遊物質（SS）、大腸菌群数（最確数法）、ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-Hex）
	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、銅、亜鉛
「承水溝」「磯川」のみ	クロロフィル a、窒素含有量、リン含有量

<調査結果>

令和元年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、概ね環境基準値（類型AA）内におさまっています。

大腸菌群は動物の糞便由来以外に、土壌・植物等自然界に由来するものも多くあります。大腸菌群そのものが直ちに衛生上有害というわけではありませんが、数値の動向に注視していく必要があります。

(2) 湧水

<調査地点・調査項目>

環境省が選定した「昭和の名水百選」「平成の名水百選」である「泉神社湧水」「居醒の清水」のほか、市内の主な湧水で水質を調査しています。



調査地点	調査項目
「泉神社湧水」 「居醒の清水」	水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)、一般細菌、大腸菌、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩素イオン、有機物等 (全有機炭素 (TOC) 量)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-Hex) カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、PCB、銅、亜鉛、窒素含有量、リン含有量、有機リン化合物 味、臭気、色度、濁度、硬度

<調査結果>

令和元年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、概ね現状維持向で推移し、地下水の水質汚濁に係る環境基準値および水道水質基準値内におさまっています。
※湧水が飲用に適することを保証するものではありません。もし、飲用として利用される場合は、必ず煮沸してご利用ください。

(3) 地下水

<調査地点・調査項目>

市内の井戸を対象に地下水を調査しています。

調査地点	調査項目
大野木地先 (3か所)	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、クロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン、水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、ノルマルヘキサン抽出物質含有量、窒素含有量、リン含有量
山東地域 (18か所)	四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン
柏原地先 (3か所)	水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、窒素含有量、リン含有量、大腸菌、ノルマルヘキサン抽出物質含有量、カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、銅、亜鉛、総水銀、PCB、有機リン化合物、全シアン
伊吹・春照地先 (3か所)	一般細菌、大腸菌、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、有機物等 (全有機炭素 (TOC) 量)、水素イオン濃度、味、臭気、色度、濁度、カドミウム、全シアン、有機リン化合物、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、PCB

<調査結果>

令和元年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、地下水の水質汚濁に係る環境基準値内におさまっています。ただし、一部の砒素の項目について、環境基準値

を超過していましたが、自然由来のものと考えられます。人体に影響があるような数値ではありませんが、飲用はおすすめしません。

※この調査は飲料水の適否を調査するものではありません。

(4) 土壌

<調査地点・調査項目>

市内6地点で土壌調査を実施しています。

調査地点	調査項目
山東地域（6か所）	カドミウム、鉛、総水銀、全クロム、銅、アンチモン含有量

<調査結果>

令和元年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、土壌含有量基準値および農用地における基準値を下回りました。

(5) 自動車騒音

騒音規制法第18条の規定に基づき、市内の主要道路における自動車騒音の実態を把握するため、調査を行っています。調査結果は環境省へ報告し、国立研究開発法人国立環境研究所のホームページの環境GISで公表されています。

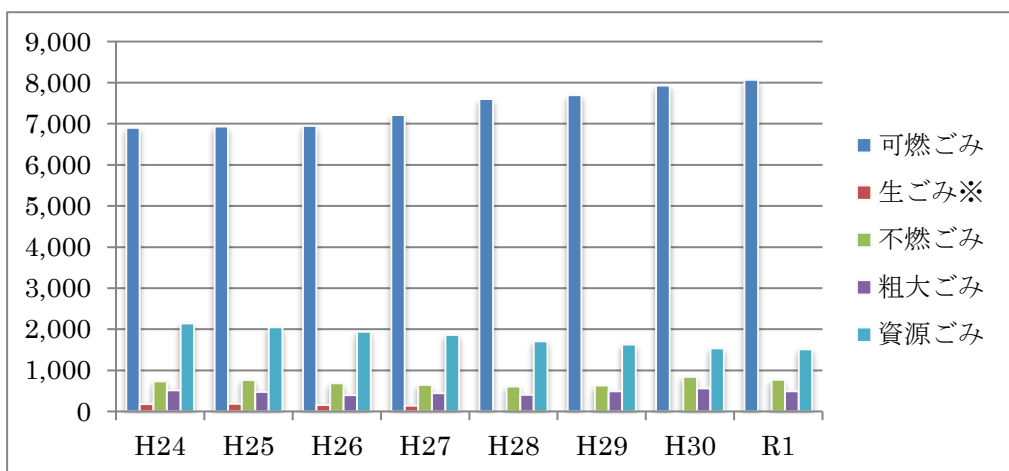
2 廃棄物

(1) ごみ処理量

米原市から発生したごみは、湖北2市（米原市、長浜市）で構成される湖北広域行政事務センターによって共同で処理されており、湖北広域行政事務センター一般廃棄物処理基本計画（令和元年1月）に沿って計画的な廃棄物処理が行われています。

現在、ごみ袋の有料化や14種18品目の分別収集を実施しており、ごみの処理量はほぼ横ばいとなっています。令和元年度は、可燃ごみの排出量が微増、不燃・粗大ごみ、資源ごみが微減となり、全体としては約26tの減少となりました。湖北広域行政事務センターから全戸配布されている「湖北広域だより」では、ごみ排出量の推移や可燃ごみの組成分析結果が掲載されており、ごみの減量の呼びかけを実施されています。

米原市のごみ処理量（家庭系・事業計の合計）（単位：t）

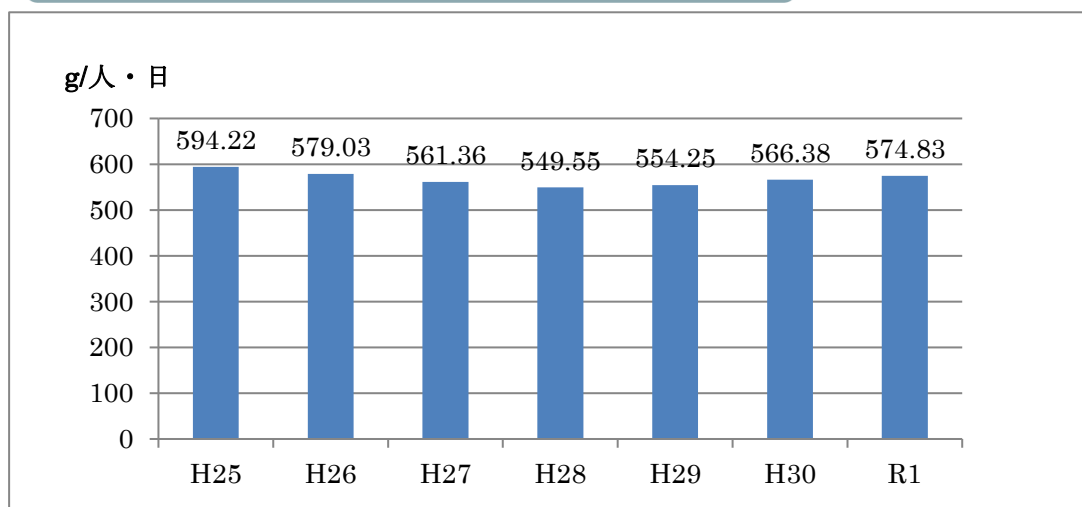


※生ごみは、伊吹地域のみでの収集実績です。

湖北広域行政事務センター調べ

※湖北広域行政事務センターが収集した分の集計です。

米原市の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（単位：g）



湖北広域行政事務センター調べ

(2) 米原市コンポストセンター

温室効果ガス発生の抑制と有機物の農地還元による安全でおいしい農作物の市内流通を目的として、平成19年から生ごみや牛ふん、農業集落排水汚泥を再利用し、堆肥化する施設「米原市コンポストセンター」を運営していました。しかしながら、劣化した機器の更新等に多額の経費が必要となることから、米原市コンポストセンター運営委員会より提出された「米原市コンポストセンターの今後のあり方について(答申)」(平成27年3月)を受けて、米原市コンポストセンターは平成29年10月末を以て廃止しました。完成した堆肥の販売は、令和2年度も継続しています。

※コンポストセンター運営委員会の審議・検討内容は、詳しくは以下に掲載しています。

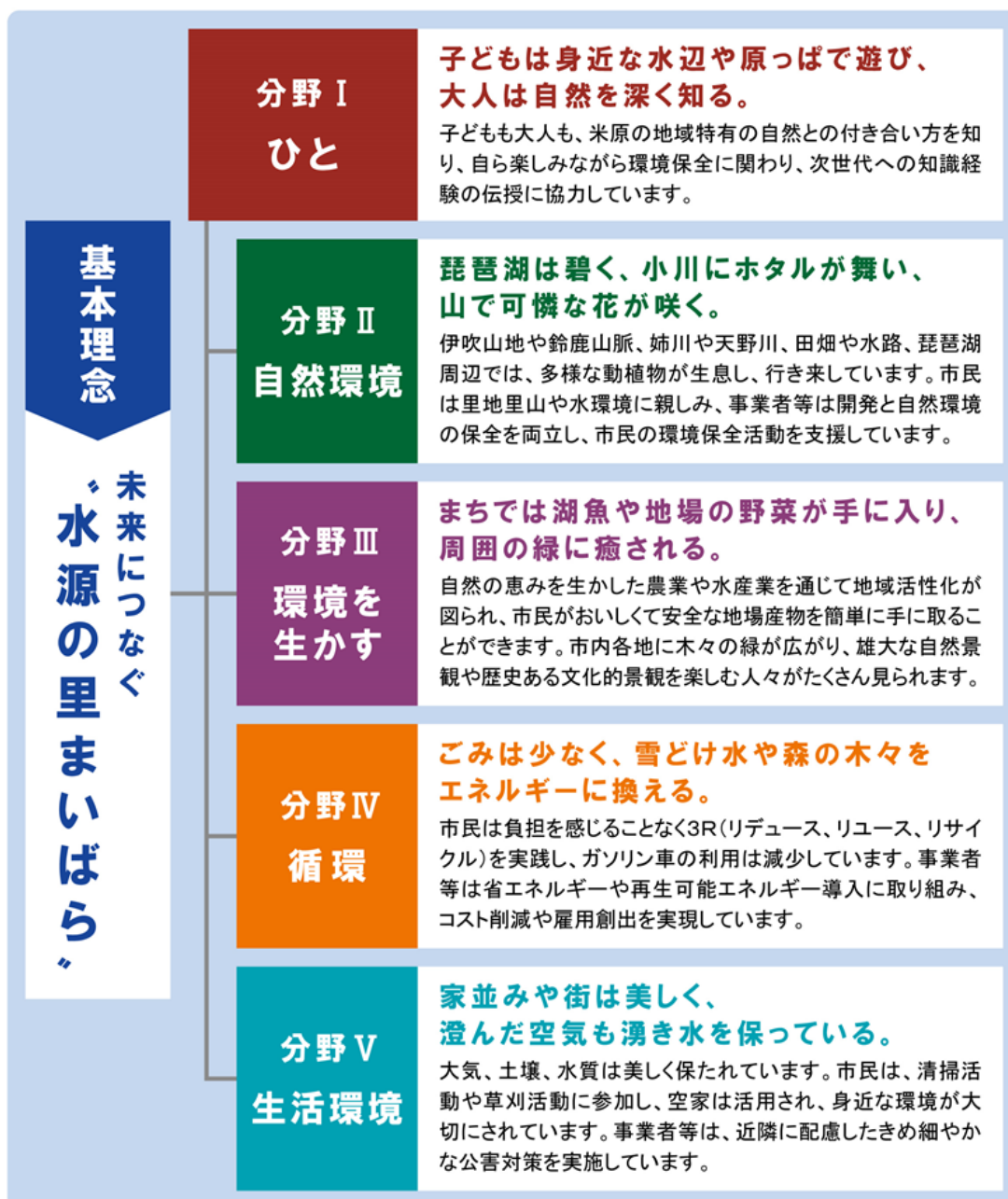
市ウェブサイト：[トップ](#)＜[くらし](#)＜[ごみ、環境](#)＜[環境](#)＜[米原市の環境への取組](#)＜[米原市コンポストセンター運営委員会](#)

第2章 環境施策の取組状況

1 第2次米原市環境基本計画における基本理念と目指す環境像

第2次米原市環境基本計画(計画年度:平成30年度～令和29年度)では、基本理念の「未来につなぐ“水源の里まいばら”」に基づき、環境施策の5つの分野(Ⅰ「ひと」、Ⅱ「自然環境」、Ⅲ「環境を生かす」、Ⅳ「循環」、Ⅴ「生活環境」)それぞれについて、本市の目指す環境像を以下に示します。

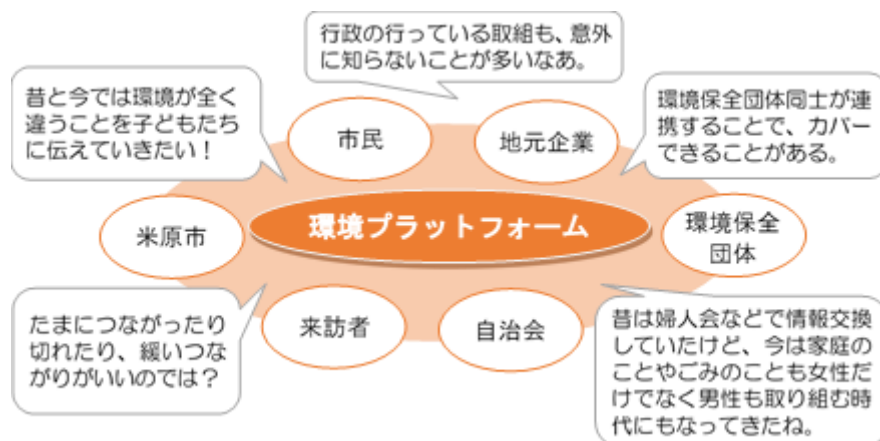
基本理念と目指す環境像



2 重点プロジェクトについて

重点プロジェクト1：今後も住み続けたいと思えるための「ひとの集まりづくり」

環境に関心を持つ人を増やし、環境を保全するための活動や事業を応援するため、地元企業や市民等が緩やかに連携できる“環境プラットフォーム”の形成を目指します。行政は、その基盤づくりとして、様々な主体への呼び掛け、ニーズの把握、技術や情報の紹介、人材・資金の仲介などを行い、活動の広がりを応援します。



重点プロジェクト2：豊かな森林と水の保全と活用による「米原ならではのエネルギーづくり」

本市の特徴である豊かな森林資源や水資源等を守りながら活用し、地球温暖化の防止や災害に強い地域づくり、資源節約や産業振興へつなげる低炭素社会の実現を目指します。行政は率先してエネルギーや資源の無駄を削減するとともに、産官民学の協働や、国や県との連携により、地産地消のエネルギーの導入と省エネルギー化を進めます。また、市民と話し合い、ごみを減らすために有効な取組を検討し、環境意識の向上を図ります。

本市におけるこうした取組や先進的な事業の情報は、市内外に向けて積極的に発信し、「新エネルギーの導入」に係る市民の満足度を高めていきます。



木の駅における
木材の活用



未来のために、いま選ぼう。



甲津原交流センター
小水力発電設備

2 第2次米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧 一指標の推移

目標達成率：A…取組が推進され、目的が100%達成されている。
 B…取組があまり進んでおらず、目的達成度は50%程度である。
 C…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。
 D…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。
 E…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。

【*】の付いた指標は、市総合計画の基本構想において成果指標となっているもの。<P>は、第2次米原市環境基本計画の該当ページ。

施策分野Ⅰ「ひと」と

分野	施策内容	指標	現況 (参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分 野 Ⅰ 「 ひと 」	子どもが地域の自然の中で遊ぶ環境づくり、地域で子育て、子育ての推進<P17>	冒険遊び場の設置数	3か所 (平成28年度)	3													7か所 (令和9年度)	子育て支援課
	学校における環境教育の推進<P17>	「5月のこ「ゆまのこ」環境美化の日」の取組実施校の数	全校 (平成29年度)	全校													全校 (令和9年度)	学校教育課
分 野 Ⅱ 「 ひと 」	協働のまちづくり、住み続けたいと思えるまちづくりの推進<P19>	「これからも米原市に住みたい」と思う市民の割合 (%) * (市長意識調査による)	81.5% (平成29年度)	78.9													85% (令和9年度)	政策推進課
	環境マインドを持った地域リーダーの育成、学びの場づくりの推進<P19>	まなびサポーターの登録数*	214人 (平成29年度)	164													230人 (令和9年度)	生涯学習課
分 野 Ⅲ 「 ひと 」	環境活動の基盤づくり、人の集まりづくり(重点目標)<P19>	環境プラントフォームの情報発信の回数	無し	1													年1回以上を継続(毎年)	環境保全課

施策分野Ⅱ「自然環境」特に關わりの深いSDGs:11(住み続けられるまち)、15(陸の豊かさ)、17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況 (参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分 野 Ⅱ 「 自然 環境 」	森林整備の推進<P21>	間伐面積*	67ha (平成29年度)	59													200ha (令和9年度)	林務課

施策分野Ⅲ「環境を生きかす」特に關わりの深いSDGs:11(住み続けられるまち)、14(海の豊かさ)、15(陸の豊かさ)、17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況 (参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分 野 Ⅲ 「 環境 を 生 か す 」	エコリズムの推進<P25>	輸ボランテニアガイドの数	27人 (平成28年度)	24													30人 (令和9年度)	商工観光課
	環境保全型産業の推進<P25>	環境保全型産業直接支払交付金取組面積	297ha (平成29年度)	240													200ha (令和9年度)	農政課
分 野 Ⅳ 「 環境 を 生 か す 」	地域住民と連携した地域の個性と誇りの育成<P27>	「歴史・文化の継承と活用」の満足度* (市長意識調査による)	83.1% (平成29年度)	86.9													90% (令和9年度)	歴史文化財保護課
	計画的な都市公園、緑地の整備<P27>	「やすらぎのある環境の整備」の満足度* (市長意識調査による)	79% (平成29年度)	79.4													82% (令和9年度)	都市計画課

施策分野Ⅳ「資源」特に關わりの深いSDGs:7(クリーンエネルギー)、8(経済成長と雇用)、9(インフラ、産業化、イノベーション)、11(住み続けられるまち)、12(持続可能な生産と消費)、13(気候変動)、17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況 (参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分 野 Ⅳ 「 資源 」	「米原市役所地球温暖化対策推進計画」および「米原市グリーン購入推進方針」の運用の徹底<P29>	公用車の購入台数中のエコカー導入率(%) ※エコカーの定義は同方針による	80% (平成28年度)	50													80% (令和9年度)	管財課
	「米原市役所地球温暖化対策推進計画」の運用の徹底(重点目標)<P29>	米原市役所の排出する温室効果ガスの量	3,492.6t-CO2 (平成28年度)	2,986.1														2,419.7t-CO2 (令和2年度)
分 野 Ⅴ 「 環境 」	新エネルギーの利活用の推進(重点目標)<P29>	「新エネルギー導入」に対する満足度* (市長意識調査による)	79.4% (平成29年度)	81.8													85% (令和9年度)	環境保全課
	こみゼロの推進(重点目標)<P31>	香ばごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量*	44g (平成28年度)	467														41g (令和1年度)

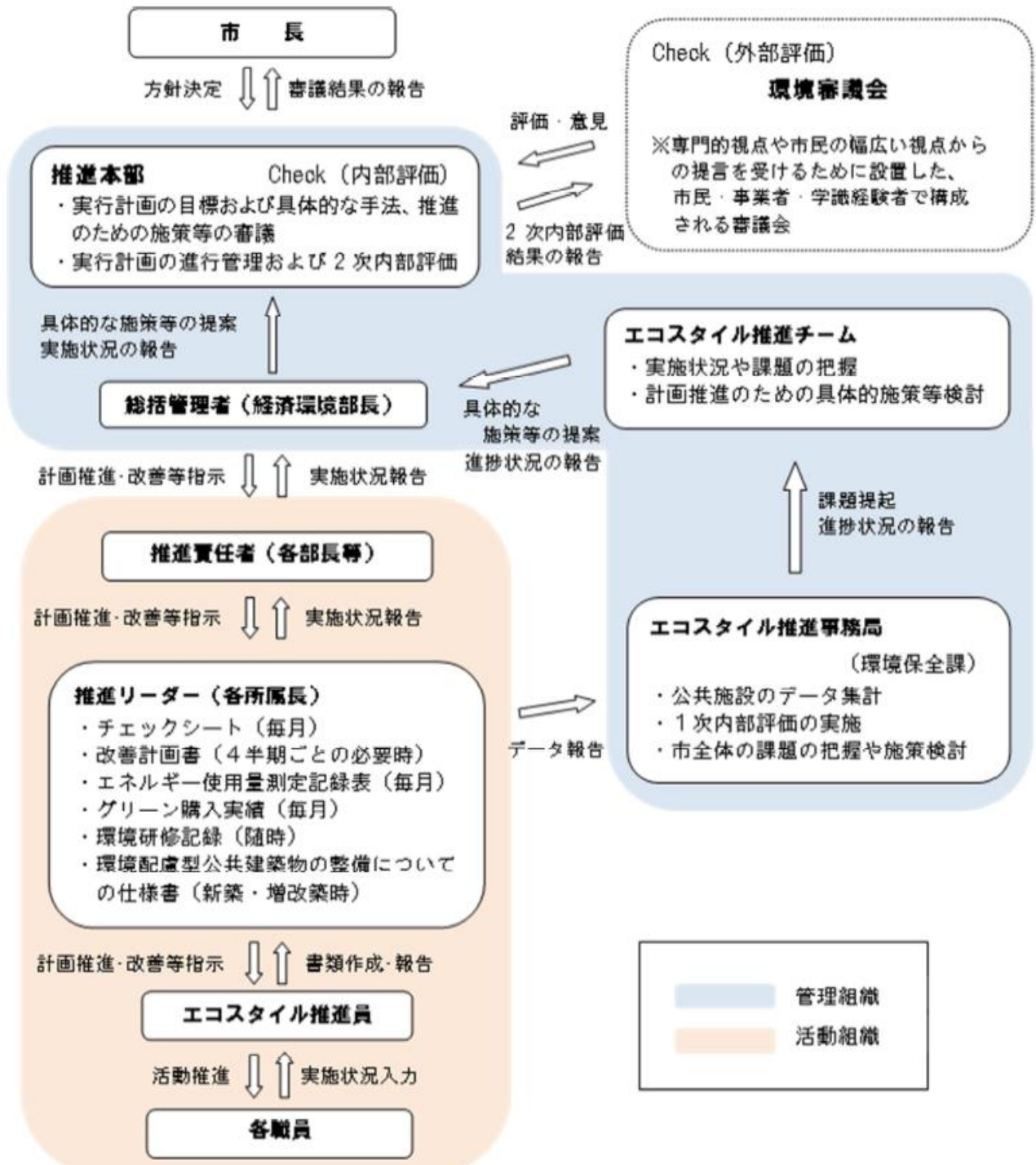
施策分野Ⅴ「生活環境」特に關わりの深いSDGs:6(水・衛生)、11(住み続けられるまち)、12(持続可能な生産と消費)、17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況 (参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名		
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9						
分 野 Ⅴ 「 生活 環境 」	上下水道の維持管理<P34>	「水がおいしいと感じる」の満足度* (市長意識調査による)	67% (平成29年度)	62.6													70% (令和9年度)	上下水道課	
	協働による市民の生命と財産を守る河川環境の維持管理<P36>	ふるさと川づくり事業の実施自治会数	62自治会 (平成29年度)	61														65自治会 (令和9年度)	建設課
分 野 Ⅵ 「 生活 環境 」	中間支援組織等と連携した空家の利活用、地域環境の保全の支援<P38>	空家バンク契約成立件数(累計)*	44件 (平成29年度)	29														64件 (令和9年度)	地域振興部

令和元年度 米原市役所地球温暖化対策の取組結果について

【推進体制】

【実施状況点検・評価フロー】



第1節 米原市地球温暖化対策の主な取組について

1 米原市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】(抜粋)

COP21 で採択されたパリ協定や国連に提出した「日本の約束草案」を踏まえ、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」では、日本の温室効果ガス削減の中期目標として、2030年度に平成25(2013)年度比で26%減の水準にすることとされております。

本計画は、法第21条に基づき、地方公共団体実行計画(事務事業編)として策定するものであり、市が行う事務・事業に伴って排出される温室効果ガスについて、その排出実態を明らかにし、削減対策および推進体制を定め、地球温暖化対策を計画的かつ着実に推進するとともに、地域に率先して環境負荷の低減に努めることを目的とします。

(1) 対象とする組織・施設

市の全ての組織および市の保有する全ての施設

(2) 事務・事業の範囲

すべての事務・事業(外部発注・委託を行うものも含まれます。)

(3) 計画の期間

平成30年(2018年)から2030年度までの13年間

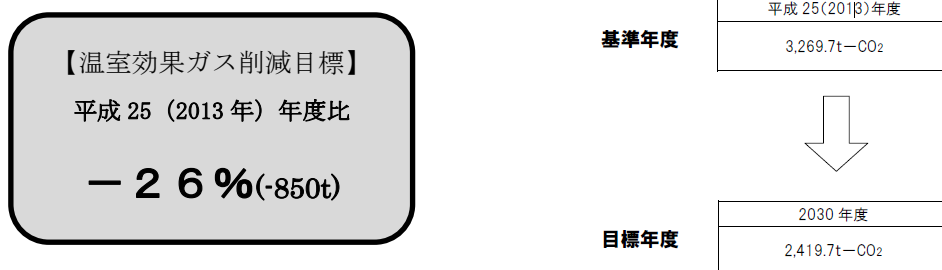
ただし、施設の状況やエネルギーを取り巻く社会状況の変化に対応するため、第1期は5年後に計画の見直しを行います。(第2期と第3期の期間は4年とします。)

(4) 事務・事業の分類

事務・事業の内容や施設の特徴に応じた取組を実施することが温室効果ガス排出量の削減に有効であるため、事務系部門、市民サービス系部門に分類します。

部 門	主な施設
事 務 系	市役所各庁舎
市民サービス系	文化施設、学校・園、公園施設等

(5) 計画の目標



(6) 具体的な取組項目

【全部門共通の取組】

市の事務・事業の実施に当たっては、常に環境の視点を取り入れ、地域に率先して環境負荷の低減に向けて行動します

- ア グリーン購入の推進
- イ 公共事業等における環境負荷の低減
- ウ 既存施設における再生可能エネルギー設備の導入と省エネ改修の実施
- エ イベントのエコ化の推進
- オ 環境配慮型の公共建築物の整備
- カ 公用車へのエコカーの導入
- キ エコドライブの実践

【事務系部門における取組】

- ア 公用車の燃料使用量削減に向けた取組
- イ 冷暖房等の電力・燃料使用量削減に向けた取組
- ウ 電気使用量削減に向けた取組
- ★ エ その他エネルギー削減に向けた取組
- ★ オ 用紙類の使用量削減に向けた取組
- カ ごみの排出量削減に向けた取組

【市民サービス系部門における取組】

市民サービス系部門における事務執行部門や施設の共用部分においては、事務系部門の取組に準じて取り組むこととします。

- ◇環境教育の推進
- ◇環境に配慮した学校施設等の整備

(7) 重点項目

【重点項目 1】

★その他エネルギー削減に向けた取組

◇限られた時間で成果を上げる生産性の高い働き方を実現できるよう、「働き方改革」に取り組むことにより、**定時退庁日の取組**を徹底します。

【重点項目 2】

★用紙類の使用量削減に向けた取組

◇広報「まいばら」、CATV、公式ウェブサイト等の活用により**チラシの削減**を図ります。

2 米原市グリーン購入調達方針

物品および役務(以下「物品等」という。)の調達方針は、次のとおりとします。

- (1) 必要性や必要量を十分検討し、調達総量の抑制に努めます。
- (2) この調達方針に定めるもののほか、国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(以下「基本方針」という。)の基準に適合したもの、別表「主な環境ラベル」に掲げる環境ラベリング制度の認証を受けた環境ラベル等が付されているもの、およびその他環境に配慮したものであることが証明されているものの調達に努めます。
- (3) 物品等の包装は可能な限り簡易で、再生利用や廃棄時の負荷低減についても配慮されているものの調達に努めます。

【令和元年度の重点物品等調達目標】

80%以上

第2節 令和元年度（2019年度）の実績

基準年を平成25年度とした数値目標と実績は次の通りです。

◆実行計画における目標値
2030年度CO2排出量⇒平成25(2013)年度比 **マイナス 26%**

エネルギー使用量等およびCO2排出量比較表

◆エネルギー使用量等の変化(市役所4庁舎分)

①事務系部門	H25年度(基準年)		H29年度		H30年度		R元年度		H30年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	増減率	CO2排出量(t)	増減率	CO2排出量(t)	増減率	CO2排出量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率
電気(kWh)	830,136.0	433.3	985,856.0	466.1	943,761.0	468.1	918,047.0	424.1	△ 25,714	87,911	△ 9	-2.1%
LPガス・都市ガス(m³)	27,99	1.8	44,95	4.2	62,99	4.2	48,91	3.2	△ 141	209	1	74.7%
灯油(l)	32,472.0	80.9	36,106.0	89.9	36,438.0	90.7	37,754.0	94.0	1,316	5,282	13	16.3%
ガソリン(l)	54,325.4	126.0	61,899.0	143.6	64,709.5	150.1	56,797.8	131.8	△ 7,912	2,472	6	4.6%
軽油(l)	6,765.3	17.5	5,129.7	13.2	6,902.0	17.8	2,287.6	5.9	△ 4,614	4,478	△ 12	-66.2%
事務用紙(枚)	3,756,277.0	133.8	3,835,700.0	137.8	3,198,975.0	127.8	3,165,119.0	127.8	△ 33,856	△ 591,158		
ごみ排出量(kg)	7,564.2	6.8489	6,848.9	6.8489	7,857.8	7.8578	9,727.8	9.7278	1,870	2,174		
水道(m³)	5,540.0	5.2020	5,202.0	5.2020	6,076.0	6.0760	5,218.0	5.2180	△ 858	△ 322		
CO2排出量合計	659.5	735.7	730.9	730.9	659.0	659.0	659.0	659.0	△ 0	△ 0		-0.1%

※新庁舎運用時のCO2排出量(基本設計予測値) 1072.108

◆エネルギー使用量等の変化(市民サービス系部門)

②市民サービス系部門	H25年度(基準年)		H29年度		H30年度		R元年度		H30年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	増減率	CO2排出量(t)	増減率	CO2排出量(t)	増減率	CO2排出量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率
電気(kWh)	3,665,406.8	1,913.3	3,965,897.0	2,070.2	3,669,011.0	1,819.8	3,618,088.0	1,671.6	△ 50,923	△ 47,319	△ 242	-12.6%
LPガス・都市ガス(m³)	27,036.4	178.4	76,025.1	501.8	69,955.9	461.7	76,377.6	504.1	6,422	49,341	326	182.6%
灯油(l)	165,967.3	413.3	100,764.1	250.9	72,657.4	180.9	79,256.8	197.3	6,599	△ 86,710	△ 216	-52.2%
ガソリン(l)	1,699.3	3.9	2,199.0	5.1	683.9	1.6	1,133.2	2.6	449	△ 566	△ 1	-33.3%
軽油(l)	46,107.6	116.4	10,190.9	26.3	10,395.0	26.8	10,620.2	27.4	225	△ 34,487	△ 89	-76.5%
事務用紙(枚)	1,893,334.0	688.9	2,458,899.0	1,036.3	2,635,067.0	1,006.9	2,468,189.0	836.7	△ 166,878	574,885		
ごみ排出量(kg)	688.9	6.889	1,036.3	10.363	1,006.9	10.069	836.7	8.367	△ 172	148		
水道(m³)	88,882.0	88.882	76,536.0	76.536	74,327.0	74.327	74,805.0	74.805	478	△ 11,077		
CO2排出量合計	2,625.4	2,854.3	2,490.9	2,490.9	2,403.0	2,403.0	2,403.0	2,403.0	△ 222	△ 222		-8.5%

◆太陽光発電設備導入によるエネルギー創出量

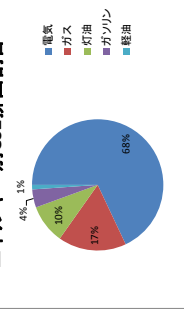
③創出エネルギー	H25年度(基準年)		H29年度		H30年度		R元年度		H30年との比較		
	CO2削減量(t)	削減率	CO2削減量(t)	削減率	CO2削減量(t)	削減率	CO2削減量(t)	削減率	CO2削減量(t)	削減率	
電気(kWh)	85,823.0	26.7	85,823.0	27.8	89,325.0	27.8	92,816.0	28.9	3,491.0		

◆エネルギー使用量等の変化(合計) ※太陽光発電設備導入によるエネルギー創出量反戻

①②③合計	H25年度(基準年)		H29年度		H30年度		R元年度		H30年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	削減率	CO2排出量(t)	削減率	CO2排出量(t)	削減率	CO2排出量(t)	削減率	CO2増減量(t)	削減率	CO2増減量(t)	削減率
電気(kWh)	4,495,542.8	2,346.7	4,865,930.0	2,398.9	4,523,447.0	2,243.6	4,443,319.0	2,052.8	△ 80,128	△ 52,224	△ 294	-12.6%
LPガス・都市ガス(m³)	27,316.3	180.3	76,474.6	504.7	70,565.8	465.9	76,866.7	507.3	6,281	49,550	327	181.4%
灯油(l)	198,439.3	494.1	136,970.1	340.8	109,095.4	271.6	117,010.8	291.4	7,915	△ 81,428	△ 203	-41.0%
ガソリン(l)	56,024.7	130.0	64,988.0	148.7	65,393.4	151.7	57,831.0	134.4	△ 7,462	1,906	4	3.4%
軽油(l)	51,872.9	133.8	15,206.6	39.5	17,297.0	44.6	12,907.8	33.3	△ 4,389	△ 38,965	△ 101	-75.1%
事務用紙(枚)	5,649,611.0	133.8	6,294,289.0	133.8	5,834,042.0	133.8	5,633,308.0	133.8	△ 200,734	△ 16,303		
ごみ排出量(kg)	8,243.1	8.2431	7,885.2	7.8852	8,866.7	8.8667	10,564.6	10.5646	1,698	2,321		
水道(m³)	91,422.0	91.4220	81,738.0	81.7380	80,403.0	80.4030	80,023.0	80.0230	△ 380	△ 11,399		
CO2排出量合計	3,284.9	3,432.7	3,177.5	3,177.5	3,019.2	3,019.2	3,019.2	3,019.2	△ 266	△ 266		-8.1%

※CO2排出削減率はR元年度の係数で計算
H25比 **△ 674** **-21%**
※CO2排出削減率を2030年度の係数で計算した場合

エネルギー別CO2排出割合



温室効果ガス排出量 = 活動量(エネルギー使用量) × 排出係数

排出係数	基準年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電気	0.0056	0.0056	0.0056	0.0056	0.0056	0.0056
ガス	0.00249	0.00249	0.00249	0.00249	0.00249	0.00249
灯油	0.00232	0.00232	0.00232	0.00232	0.00232	0.00232
ガソリン	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258
軽油	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258

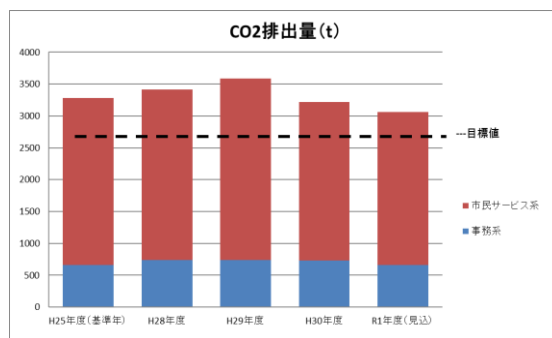
排出係数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
電気	0.0056	0.0056	0.0056	0.0056	0.0056	0.0056
ガス	0.00249	0.00249	0.00249	0.00249	0.00249	0.00249
灯油	0.00232	0.00232	0.00232	0.00232	0.00232	0.00232
ガソリン	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258
軽油	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258	0.00258

1 電気事業における低炭素社会実行計画による目標値

I. 市役所全体 エネルギーの状況

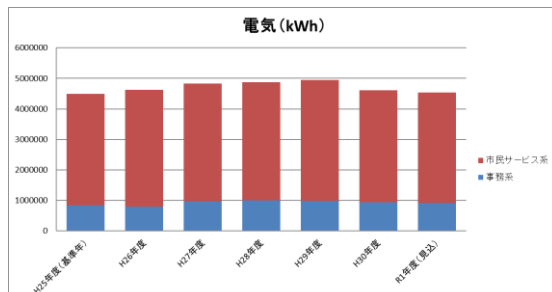
C02 排出量

令和元年度 C02 排出量は 3,019t、基準年度比 266 t 削減、昨年度比約 158 t 削減となっています。排出係数(H30:0.000496 →R元: 0.000462)に変更となっています。



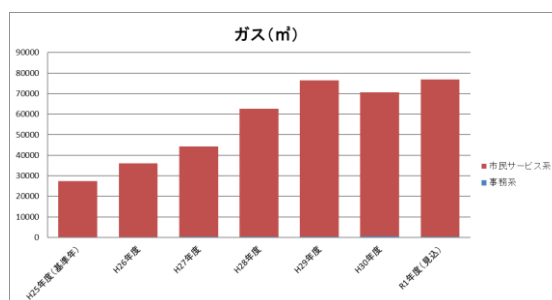
①電気使用量

令和元年度電気使用量は 444 万 3,319kWh、基準年度より約 5.2 万 kWh 削減しています。前年度比では約 8 万 kWh の削減となっています。(事務系部門、市民サービスの両部門で削減) H30 年度から学校施設の LED 化が順次進められており市民サービス系部門の使用量削減が見込まれます。



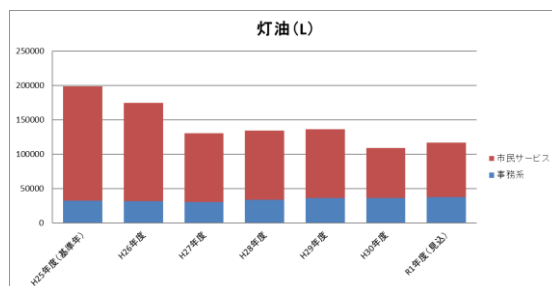
②ガス使用量

令和元年度ガス使用量は 7.6 万 m³、基準年度比 4.9 万 m³ の増加、前年度比約 6 千 m³ の増加となっています。市民交流プラザの使用量が前年度比約 2,780 m³ の増加、小学校部門においても全体的に増加となっています。



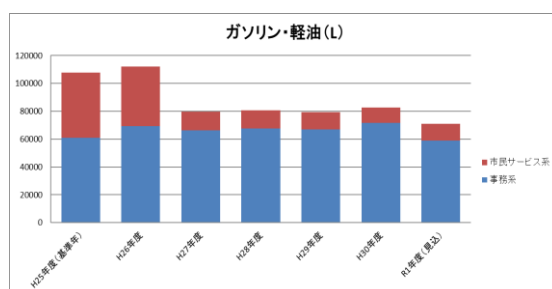
③灯油使用量

令和元年度灯油使用量は 11 万 7,010L、基準年度比約 8.1 万 L の削減ですが、前年度比約 7,900L の増加となっています。



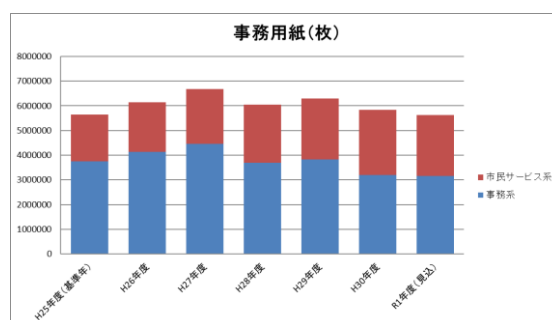
④ガソリン・軽油使用量

令和元年度ガソリンの使用量は 57,931L、基準年度比約 1,900L の増加、前年度比では約 7,460L の削減となっています。軽油の使用量は 12,907L、基準年度比約 3.9 万 L の削減、前年度比約 4,390L の削減になっています。前年度においては竜巻等の災害対応が原因で近江、山東、伊吹庁舎でガソリン、軽油が増加となりましたが今年度においては、通年の使用量の水準以下となっています。



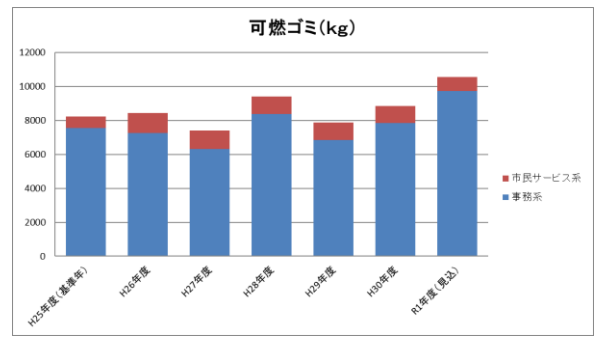
⑤事務用紙使用枚数

令和元年度事務用紙使用枚数は 563 万 3 千枚、基準年度比で約 1 万 6 千枚の削減、前年度比約 20 万枚の削減となっています。市民サービス系部門(市民交流プラザ、学校)で大きく削減となっています。



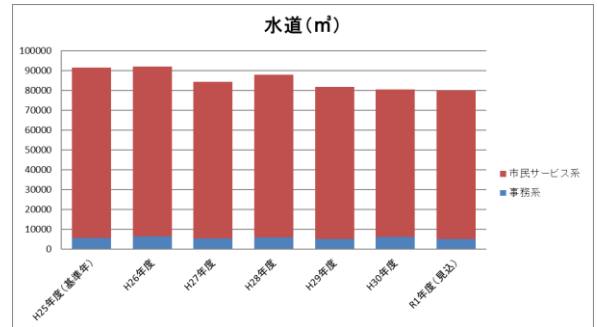
⑥可燃ゴミ排出量

令和元年度可燃ゴミ排出量は10,546 kg、基準年度比約2,300kgの増加、前年度比約1,700kgの増加となっています。昨年度に引き続き文書の保存年数の見直し等により文書整理を行った結果、排出量が増加したと考えられます。



⑦水道使用量

令和元年度水道使用量は8万m³、基準年度比約1.1万m³の削減、前年度比380m³の削減となっています。庁舎全体で前年度比858m³の削減となっていますが、市民サービス系部門前年度比478m³の増加となっています。

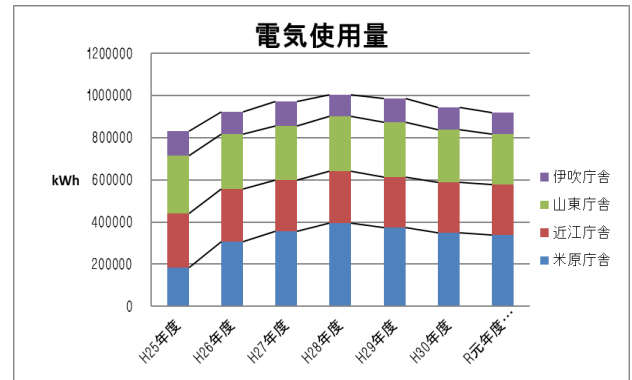


II. 部門別 エネルギーの状況

①電気

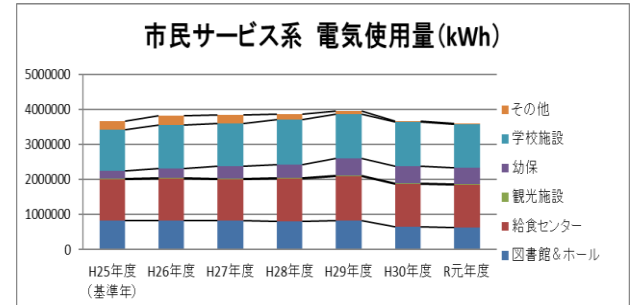
【事務系部門】

令和元年度は91万8,047 kWh、基準年度より約8.8万kWh増加しているものの、前年比では各施設の節電対策等により約2.57万kWhの削減となる見込となっています。



【市民サービス系部門】

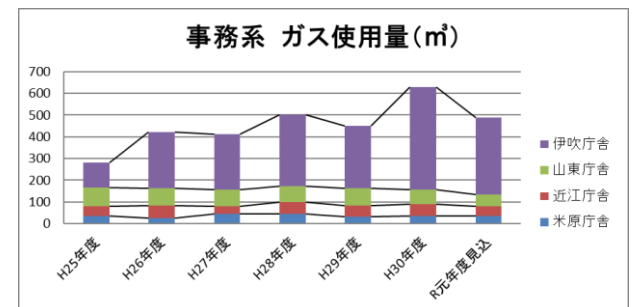
令和元年度は361万8,088 kWh、基準年度より約4.7万kWhの削減となっています。前年度比においても約5.1万kWhの削減となっています。中学校全体での削減が見られました。



②LPガス・都市ガス

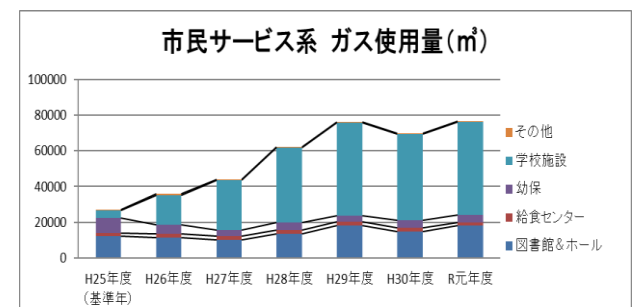
【事務系部門】

令和元年度は489 m³、基準年度より200 m³増加見込みとなっていますが、前年度比において140 m³の削減となっています。



【市民サービス系部門】

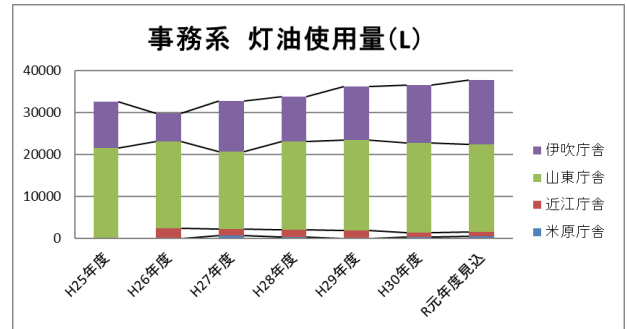
令和元年度は7万6,377 m³、基準年度より約4.9万m³の増加、前年比6,400 m³の増加となっています。市民交流プラザの使用量が前年度比約2,780 m³の増加です。小学校全体においても増加傾向です。



③灯油使用量

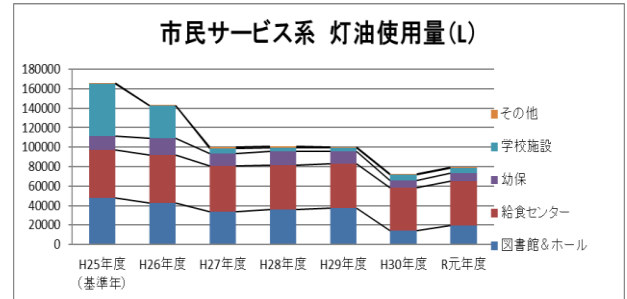
【事務系部門】

令和元年度は3万7,754L、基準年度より約5,200L増加、前年比約1,300L増加となっています。酷暑の影響により伊吹庁舎の空調利用が増加したことが原因と考えられます。



【市民サービス系部門】

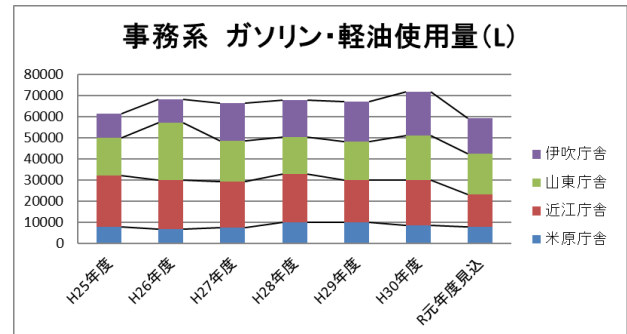
令和元年度は7万9,256L、基準年度より約8.6万L削減、前年度比約6,600L増加となっています。



④ガソリン・軽油使用量

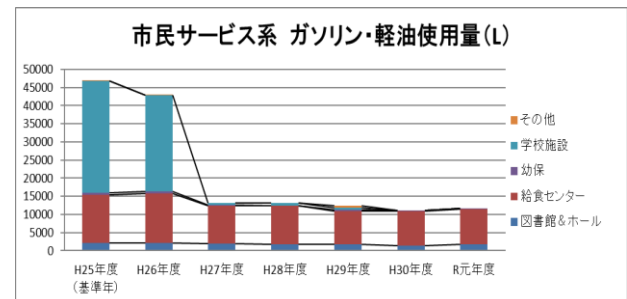
【事務系部門】

令和元年度は5万9,085L、基準年度より約2,000Lの削減、前年度比では約1.25万L削減の見込みとなっています。平成30年に発生した竜巻の処理により燃料の使用が増加をしましたが、今年度は通年の水準以下となる見込みです。



【市民サービス系部門】

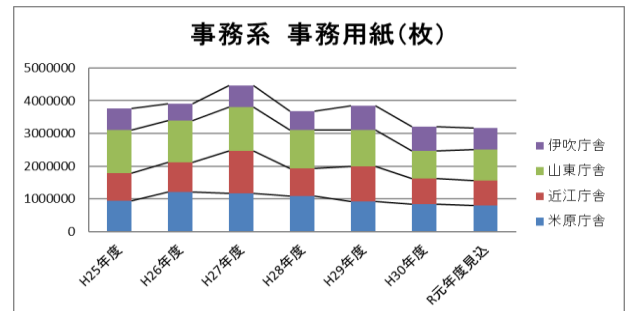
令和元年度は1万1,753L、基準年度より約3.5万Lの削減、前年度比約670Lの増加の見込みです。市民交流プラザ・西部給食センターの燃料増加が原因です。H27以降はスクールバスが委託になり軽油使用量が実績なしとなっています。



⑤事務用紙使用枚数

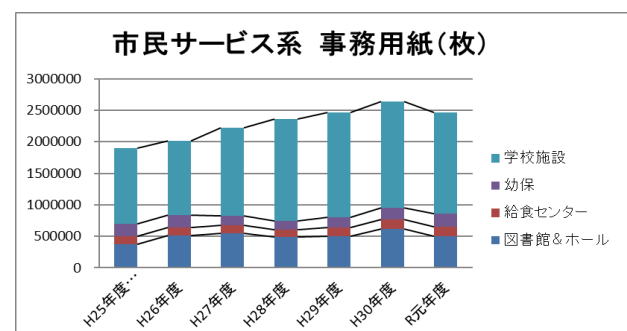
【事務系部門】

令和元年度は316.5万枚、昨年度に続き両面印刷等により、基準年度比約59.1万枚の削減、前年度比約3.38万枚の削減となっています。情報政策課、林務課、監査委員事務局は前年度比で30%以上使用枚数を削減しています。



【市民サービス系部門】

令和元年度は246.8万枚、基準年度比約57.5万枚の増加、前年度比約16.6万枚の削減となっています。学校においては削減となっていますが、はにわ館・東部給食・西部給食で増加が見られます。

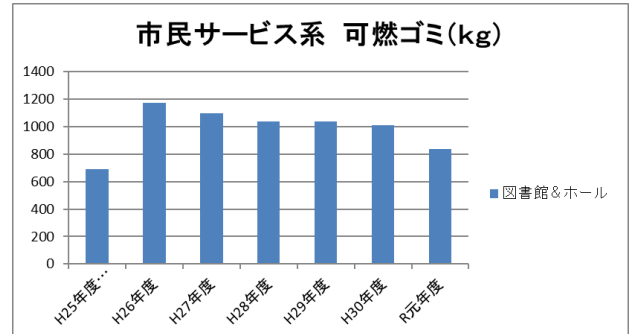
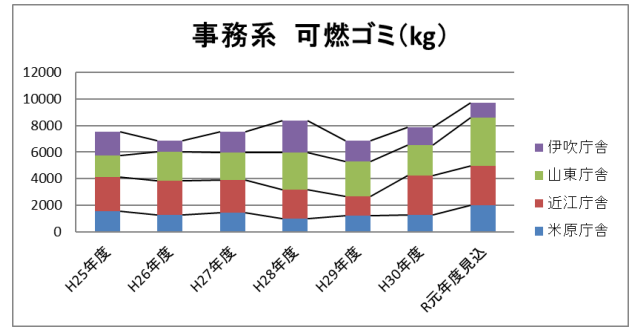


⑥可燃ゴミ排出量

【事務系部門】

令和元年度は9,727kg、基準年度比約2,100kgの増加。前年度比約1,800kgの増加見込みとなっています。文書保存の見直し等で廃棄文書が増加したことが原因と考えられます。特に増加しているのは米原地域協働課455%、秘書室439%、くらし支援課381%となっています。

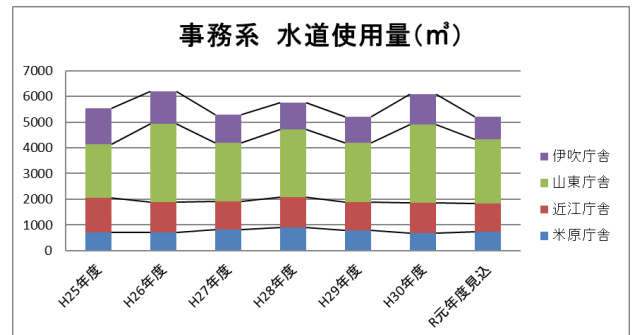
【市民サービス系部門】（市民交流プラザ・近江図書館のみ）令和元年度は836kg、基準年度比148kgの増加、前年度比では172kg削減となっています。



⑦ 水道使用量

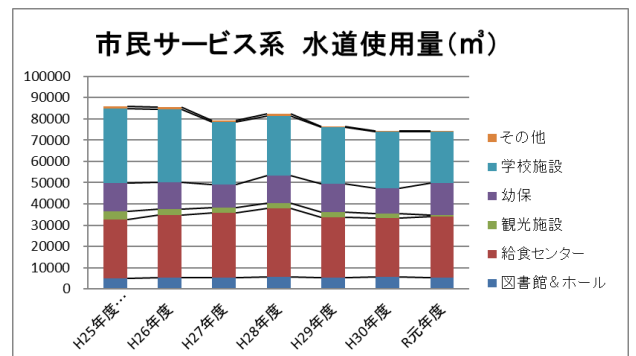
【事務系部門】

令和元年度は5,218 m³、基準年度比約322 m³削減、前年度比約858 m³の削減見込みとなっています。漏水等も見られず、平成29年度と同水準の使用量となっています。



【市民サービス系部門】

令和元年度は7.48万m³、基準年度比約1.1万m³の削減、前年度比約478 m³の増加となる見込みです。東部給食センターで約1,100 m³の増加となっています。



【1次評価】

各所属・各施設・各学校・各園等において、平成31年（2019年）1～12月中の地球温暖化対策の取組について各課エコスタイル推進員がとりまとめ、評価を行いました。

【監視測定】各項目の良かった部署

◆事務用紙 ○削減

①情報政策課（50%削減）②林務課（38%削減）③監査委員事務局（35%削減）

◆可燃ゴミ ○削減

①管財課（73%削減）②歴史文化財保護課（68%削減）③環境保全課（62%削減）

◆燃料 ○削減

①子育て支援課（50%削減）②歴史文化財保護課（39%削減）③商工観光課（32%削減）

【監視測定】各項目の悪かった部署

◆事務用紙 ×増加

①歴史文化財保護課（54%増加）②防災危機管理課（41%増加）③くらし支援課（37%増加）

◆可燃ゴミ ×増加

①米原地域協働課（455%増加）②秘書室（439%増加）③くらし支援課（381%増加）

◆燃料 ×増加

①議会事務局課（18%増加）②山東地域協働課（11%増加）③保育幼稚園課（8%増加）

◆改善計画書作成率

×未作成

・米原地域協働課・情報政策課・財政課・監査委員事務局・防災危機管理課・健康づくり課・教育総務課・商工観光課

◆環境研修実施回数

○三回以上実施

・秘書室・政策推進課・人権政策課・子育て支援課・議会事務局

×未実施

・米原地域協働課・財政課・管財課・監査委員事務局・近江地域協働課・保険課・都市計画課・山東地域協働課・くらし支援課・健康づくり課

◆学校・園での環境学習実施回数 ※（ ）はH30年度回数

園 平均7.8回（9.7回）

小学校 平均10.6回（11回）

中学校 平均8回（8.1回）

【2次評価】

市役所温暖化対策率先実行計画に対する令和元年度の実績は下記の通りです。

●エネルギー使用量

	平成 25 年度 (2013 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
電気 (kWh)	4,495,542.8	4,523,447.0	4,443,319.0
LP ガス・都市ガス (m ³)	27,316.3	70,585.8	76,866.7
灯油 (ℓ)	198,439.3	109,095.4	117,010.8
ガソリン (ℓ)	56,024.7	65,393.5	57,931.0
軽油 (ℓ)	51,872.9	17,297.0	12,907.8
事務用紙 (枚)	5,649,611.0	5,834,042.0	5,633,308.0
ごみ排出量 (kg)	8,243.1	8,866.7	10,564.6
水道 (m ³)	91,422.0	80,403.0	80,023.0

●CO2 排出量

基準年 (平成 25 年) 度比		CO2 削減量	CO2 削減率
2030 年度目標値		-850 t	-26%
令和元年度	R 元年度 (2019 年度) 係数計算	-266 t	-8.1%
実績	参考: 令和 12 年度 (2030 年度) 係数計算	-674 t	-21%

基準年度比較で CO2 排出量が -266 t、削減率が -8% で 2030 年目標値の達成に向け取組みがされています。事務系、サービス系ともに電気使用量が削減していることが CO2 排出の抑制要因となっています。CO2 排出の要因の約 68% が電気使用量となっており電気使用量の削減が目標達成のためには必要です。

エネルギー使用量については前年度比において、全体的には削減が進んでいます。(LP ガス・都市ガス、ごみ排出量を除く) 個別にみると節電や設備の LED 化により電気使用量は削減されています。ガソリン・軽油について大きな災害対応や雪が少なく公用車や重機の使用回数が減となったことにより使用量が削減となっています。事務用紙については両面印刷・集約印刷により削減が進んでいます。水道使用量については一部施設での増加が見られましたが全体として削減が進んでいます。

以上のことから、米原市市役所地球温暖化対策推進本部会議としての評価は下記の通りです。

全庁的に CO2 排出量削減に向けて取り組まれています。特にガソリン・軽油使用量と電気使用量は前年度に比して CO2 削減が一段と進んでいます。

ただし、1 次評価チェックシートや月々のエネルギー使用量の未記入や遅れのある部署が見られましたので、計画に基づき適切な書類作成を徹底して下さい。

また、エネルギー使用量等が増加している部署では、原因を明らかにし計画における取組を適切に実施し省エネルギーへの取組を推進・改善して下さい。

工事・委託等の実施に当たっては、環境配慮の依頼 (確認書) の作成率が悪い部署が見られますので、確実な書類作成を行って下さい。

各課での環境研修が未実施の部署が見られますので、環境配慮の意識向上のためにも目標回数の実施に努力して下さい。また、研修等での各庁舎移動の際は乗り合わせを徹底して下さい。

【令和元年度 外部評価】

令和元年度米原市環境審議会（書面開催）での講評は下記の通りです。

- ・統合庁舎の建設が進められているが、庁舎の設備計画、建物計画が温室効果ガス排出に大きな影響を与えるため、事前にこの点からの検討が必要である。
- ・第1期計画の見直しは3年後（令和4年度）となっているが、市役所が統合庁舎に移行すれば、市役所内におけるエネルギー利用形態や効率、移動手段等が現状と大きく変わるはずなので、策定から5年経過していなくても、庁舎移行のタイミングで、新庁舎への環境性能・スペックを前提とした新しい計画への大幅な見直しを検討すること。
- ・アウトカム指標（CO2削減率、資源やエネルギーの使用量等）はひと通り経年評価されグラフ化されているが、アウトプット（各取組項目に、どのような方法でどの程度取組んだのか）に対する評価が不十分と思える箇所がある。どの項目に対し、各課が具体的にどのような取組や工夫を行い、それが目標達成にどう寄与したと考えられるか（またはあまり効果がなかったか）を考察し、それらを庁内全体でしっかり共有することで次年度の取組に活かすことができるよう検討すること。

以上

【付表】河川水質および名水水質の年次推移

① 政所川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	7.3	7.6	7.5	7.7	7.8	6.9	7.5	7.8	6.5~8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	0.7	1.1	1.1	0.9	0.8	1.3	1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1	1.7	2.8	1.5	1.2	1.6	1.8	2	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	2	1未満	1未満	1	1	1未満	1未満	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	3500	680	110	13000	920	2800	75	3300	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

② 出川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8	8.5	8	8	7.6	7.2	7.3	7.9	6.5~8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	1	0.6	1	1	1.1	0.9	0.6	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	7	2.8	2	1.8	1.6	2.6	1.2	1.9	—
浮遊物質(SS)	mg/L	5	5	1未満	2	2	1未満	1未満	7	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	720	270	490	2200	3500	70	240	11000	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.05	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

③ 黒田川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	7.8	7.9	7.7	7.8	7.4	6.9	7	7.8	6.5~8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.9	0.5未満	0.9	0.8	1	0.7	0.5	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.7	2.8	1.9	2.3	2.2	3.1	1.3	2	—
浮遊物質(SS)	mg/L	2	2	1未満	2	2	3	1未満	1	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	1400	78	1100	2400	490	150	490	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

④ 真経堂川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8.4	7.9	7.6	7.5	7.7	7	7.3	—	6.5~8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.1	1	0.5未満	1.1	0.7	1.1	0.7	—	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.4	3.7	2.4	3	1.9	0.5未満	1.3	—	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1	1未満	5	4	1	1未満	—	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—	—
大腸菌群数	MPN/100mL	3500	113.3	45	26000	1600	330	23	—	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	—	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	—	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	—	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	—	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—	—

⑤ 土川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8	8.3	7.6	7.7	7.8	7	7.2	7.7	6.5~8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.1	1.1	1.4	3.1	1	1.2	1.3	1.3	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.1	4.1	3.2	1.1	2.4	3.2	2.6	2.6	—
浮遊物質(SS)	mg/L	2	2	2.3	4	2	1	1未満	4	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	430	1400	490	11000	3500	170	75	2200	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

⑥ 霧野田川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	7.9	7.9	7.5	7.6	7.7	7	7.2	7.7	6.5~8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.9	0.7	1.4	0.6	1.4	0.8	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.9	3	2.4	3.1	0.8	2.7	1.8	1.2	—
浮遊物質(SS)	mg/L	5	4	1.1	4	1	1	1	3	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	3500	1700	270	2600	5400	490	43	790	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.003	0.003	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

⑦ 長老墓地川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8	8.4	7.8	7.9	7.9	6.9	7.5	8.1	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	0.9	1.1	0.8	0.9	1.1	1	1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.2	3.9	2.6	3.1	2.6	3.7	2.4	2.3	—
浮遊物質(SS)	mg/L	6	9	1.1	2	1	1	1未満	1未満	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	5400	2700	230	4900	3500	330	150	490	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.002	0.002	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

⑧ 永水溝	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8.1	7.8	7.5	7.5	8.2	7	7.2	8.1	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	4.1	3.7	3.2	2.1	7.7	1.9	2.8	3.3	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	5.5	7.7	7.6	5.7	7.8	5.6	5.6	6.7	—
浮遊物質(SS)	mg/L	14	16	4.6	6	18	7	9	9	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	5400	7000	270	26000	220	490	93	330	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.002	0.001	0.002	0.002	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
全窒素	mg/L	0.42	1.3	1.7	1	15	0.86	1.2	1.1	—
全磷	mg/L	0.06	0.14	0.09	0.082	0.86	0.05	0.12	0.065	—
クロロフィルa	mg/L	0.065	24	5.5	2.4	0.058	4.2	13	32	—

⑨ 磯川	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	7.9	7.6	7.7	7.7	7.7	7	7.3	8.6	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	2.1	2.3	1.2	2.3	2.8	3	2.3	5.6	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	6.4	9.4	5.4	5.9	6.5	7.4	6	9.5	—
浮遊物質(SS)	mg/L	7	15	2	7	6	11	9	18	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	16000以上	14000	220	1400	350	220	23	33	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001	0.002	0.001	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—
全窒素	mg/L	0.55	1.4	0.92	1	15	1.1	1.2	1.2	—
全磷	mg/L	0.05未満	0.15	0.054	0.11	0.86	0.13	0.098	0.11	—
クロロフィルa	mg/L	0.04	7.8	2.6	3.6	0.058	29	12	84	—

⑩ 天野川上流	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8	8	8.1	7.9	8.1	7	6.9	8.1	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	1	0.7	1.3	1.3	1	1.3	0.9	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.7	2.9	2.7	3.1	1.9	2.2	1.8	1.8	—
浮遊物質(SS)	mg/L	2	1未満	2	1	2	1未満	1未満	1未満	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	5400	1400	140	1700	630	490	43	4600	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.0005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.07	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.02	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

※年2回実施。数値の高い方を採用。

⑪ 天野川下流	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	基準値
水素イオン濃度(pH)	—	8.4	8.3	8.2	8	7.6	7.1	7.4	8.7	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.1	1	0.7	0.7	1.6	1.7	1	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.4	2.5	1.7	1.7	1.7	1.3	1.6	1.6	—
浮遊物質(SS)	mg/L	2	1	1未満	6	1	1未満	1未満	2	25
ルルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	45	2700	270	1100	310	79	23	1100	50
カミム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.0005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.02	0.01未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	—

※年2回実施。数値の高い方を採用。

⑩ 泉神社湧水	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	8	8.2	7.8	7.9	7.7	6.9	7	8.1	5.8~8.6
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7	0.6	1.2	0.5未満	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	0.2未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5	0.5未満	0.5未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌(～H27:大腸菌群数)	MPN/100mL	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	不検出	不検出
カミム及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.2未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
総水銀	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005
砒素及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
全りん(T-P)	mg/L	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	—
全窒素(T-N)	mg/L	0.83	0.78	0.67	0.92	0.71	0.74	0.5	1.3	—
有機りん化合物	mg/L	0.05未満	0.1未満	0.1未満	0.05未満	不検出	不検出	0.1未満	0.1未満	—
全シアン	mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01
PCB	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出	—
塩素イオン	mg/L	5.2	6.1	5.1	4	5.3	5.4	5.7	4.4	200
一般細菌数	個/mL	0	2	4	0	0	1	0	0	100
色度	度	0.5未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	5
濁度	度	0.2未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	2
臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.9	0.63	0.8	0.69	0.68	0.71	0.67	0.9	10
TOC(全有機炭素)	mg/L	0.3未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	3

⑪ 居譲の清水(湧水)	単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.9	8.1	7.9	8	7.7	7.2	7.3	8	5.8~8.6
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7	1.1	0.5	0.5未満	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	0.2	0.5	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1.3	0.7	0.5未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌(～H27:大腸菌群数)	MPN/100mL	検出	不検出	検出(4)	不検出	検出	検出	不検出	不検出	不検出
カミム及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.2未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005
砒素及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.01	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
亜鉛含有量	mg/L	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
全りん(T-P)	mg/L	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	—
全窒素(T-N)	mg/L	1.1	1.1	0.9	1.1	1.1	0.9	1	1.1	—
有機りん化合物	mg/L	0.05未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	不検出	不検出	0.1未満	0.1未満	—
全シアン	mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01
PCB	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出	—
塩素イオン	mg/L	12	11	19	11	8.8	10	11	23	200
一般細菌数	個/mL	15	4	11	3	0	1	26	23	100
色度	度	0.8	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1	1未満	5
濁度	度	0.2未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.2	0.1未満	2
臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	1.1	1	1.1	1.1	1	0.71	0.92	1	10
TOC(全有機炭素)	mg/L	0.3未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	3



令和3(2021)年3月

米原市経済環境部環境保全課(伊吹庁舎)
〒521-0392 滋賀県米原市春照 490 番地1
TEL0749-58-2230 FAX0749-58-1630
E-mail:kankyohozen@city.maibara.lg.jp